

令和6年度

事業報告書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

社会福祉法人

津幡町社会福祉協議会

事業報告書

1 総括

当社協は、住み慣れた地域で、どんな状況においても、すべての住民が心豊かに暮らせる地域づくりを目指し、地域住民、関係機関、福祉関係団体との参加と協働のもと事業を進めました。

令和6年度は、1月に起きた能登半島地震の被災者及び災害ボランティア活動の支援、さらに、奥能登から津幡町に避難している方の見守り支援を行なながら、第3期津幡町地域福祉活動計画の事業を推進しました。

また、地域住民との協働の取り組みをより一層深め、地域での見守り・支え合い体制の充実を図るとともに、生活福祉資金の特例貸付等による生活困窮者支援及び社会的に孤立している人等への支援体制を強化し、住民が安心していきいきと暮らせる地域づくりの実現に向けた取り組みを推進しました。

2 法人運営

(1) 会務

理事会	令和6年 5月29日 (水)
	令和6年 7月26日 (金) 書面決議
	令和6年10月 9日 (水) 書面決議
	令和7年 3月14日 (木)
評議員会	令和6年 6月20日 (木)
	令和6年 7月29日 (月) 書面決議
	令和6年10月11日 (金) 書面決議
	令和7年 3月28日 (金)
評議員選任・解任委員会	令和6年6月17日 (月) 書面決議
	令和7年3月21日 (金) 書面決議
監査会	令和6年5月22日 (水)

(2) 第16回津幡町社会福祉大会 (令和6年10月8日 (火) 開催)

津幡町社会福祉協議会会长表彰 (個人25名、5団体)、被表彰者記念撮影

ビデオ上映「津幡町社協の災害対応」

講演会「これから自分の自分とまわりの人を守るために、私たち世代にできること」

講師 医療ソーシャルワーカー 馬渡 徳子 氏

参加者数 171名

(3) 社協だよりの発刊(年3回発行)

令和6年6月号 (第65号) は令和6年能登半島地震関連の活動を特集しました。

(4) 職員の資質向上

外部研修 (2回、延べ4名参加)

(5) 団体寄贈・受贈実績

・寄贈実績

団体、個人の方から延べ2件の食品及び日用品の寄贈がありました。

・受贈実績 ※6年度新規登録なし、登録件数は累計 【単位：件】

	学童保育	福祉施設他	福祉団体	合計
登録	13	14	1	28
提供	4	5	0	9

3 心配ごと相談及び無料法律相談

	心配ごと相談	法律相談			合計
		弁護士会	司法書士会	行政書士会	
開設日数	24	12	11	9	56
件数	1	44	21	3	69
相談事項	健康・保健	0	0	0	0
	結婚・離婚	0	12	0	12
	財産	0	17	14	32
	児童・母子・父子	0	0	0	0
	家族	0	4	0	4
	生計・年金	0	3	0	3
	法律・人権	0	7	7	14
	障害者福祉	0	0	0	0
	その他	1	14	2	19
	計	1(1)	57(49)	23(33)	3(5) 84(88)

※()は前年度の実績

4 援助活動

(1) 町たすけあい金庫貸付事業

生活困窮者に対し緊急援護資金（限度額5万円）や生活保護や年金までのつなぎ資金として融資し、当面する事態の緊急に対応するこの制度の利用は、貸付件数5件、貸付金は121,000円でした。また、償還については年度内に全件全額返済済みとなっております。

(2) 災害見舞金給付事業

町内において災害の被害にあった世帯にお見舞金を支給しており、今年度は全焼1件（見舞金30,000円）、一部焼失1件（見舞金10,000円）の拠出がありました。

(3) 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付相談においての相談は25件で、そのうち福祉資金または総合支援資金についての相談は17件ありましたが、貸付決定は1件となっています。理由としては、生活保護申請や食料支援で生活の立て直しを図ると申し出るケースが多くありました。また、債務が多く貸付では生活状況の改善が見込めないケースもあり、いずれも関係機関につないでいます。

令和6年能登半島地震により被災された皆さまの当座の生活費として、緊急小口資金の特例貸付の相談件数は8件、貸付決定件数は8件 1,100,000円となり、昨年度と比較し5件 550,000円減少しました。

貸付区分	福祉資金・総合支援資金		緊急小口資金 (被災者向け特例貸付)		合計
	5年度	6年度	5年度	6年度	
相談件数	6件	17件	16件	8件	25件
貸付件数	0件	1件	13件	8件	9件
決定額	0円	88千円	1,650千円	1,100千円	1,188千円

(4) 生活困窮者支援事業

生活困窮者への食料支援は、「生活困窮者への食料支給実施要項」に基づき、「食料支給申出書」を提出していただくことで、対象者の意向や生活状況を把握し、自立に向けた相談支援を図ることを目的として実施しています。

津幡町商工会女性部・津幡地区女性会のフードドライブ活動のご協力と地域の各団体やふーどサポーターから寄贈された食品等は生活困窮者を対象にフードパントリーという形で今年度は3回(通常開催2回、臨時開催1回)開催しました。社協の事業対象である生活困窮者と、地域包括支援センター、子ども家庭総合支援室、石川中央保健福祉センター(中福)で相談されている方が来場、もしくは職員が届ける等の方法で実施し、食料品等を配付することができました。

また、フードパントリー来場者には寄贈団体やふーどサポーターへむけて感謝のメッセージをお届けしました。

【フードドライブ活動 寄贈団体】

津幡町商工会女性部、津幡地区女性会、明治安田生命保険(相)津幡営業所、アル・プラザ津幡利用のお客様、英田地区くらし安心ネットワーク委員会

【食料支給申出書世帯数・支援件数】

申出世帯数：49世帯 支援件数：延べ49件

【フードパントリー実績】

第1回 令和6年9月19日(木) 16:00～18:30

来場	社協	包括	子ども家庭	中福	計
世帯数	20	4	5	1	30

臨 時 令和6年11月25日（月）～令和6年11月29日（金） 9:00～17:00

来場	社協	包括	子ども家庭	中福	計
世帯数	22	5	8	3	38

第2回 令和7年2月15日（土）9:00～11:30

来場	社協	包括	子ども家庭	中福	計
世帯数	15	5	6	4	30

（5）令和6年能登半島地震被災者見守り・相談支援等事業

令和6年能登半島地震における被災者が、それぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、見守り支援や相談を行い各専門相談機関へつなぐ支援をおこないました。

津幡町では、生活相談員を16名委嘱し、みなし仮設としてアパートや借家で住まいされている方々約120世帯を対象に、延べ211件訪問しました。

うち、在宅は延べ133件、電話件数は延べ239件で、介護・健康等の相談に対する各専門機関へつないだ件数は延べ14件でした。

また、社会福祉法人連絡会との連携により被災者向けサロンも9回開催いたしました。

5 地域福祉活動

（1）第3期津幡町地域福祉活動計画に基づき、町福祉課、子育て支援課と毎月開催する推進会議で共有、連携しながら地区社協・委員会との関係づくり強化と、地域の特性にあった地域づくりの推進や活動支援を行いました。地区社協・委員会では介護予防活動や防災、集いの場など住民主体で取り組まれております。

また、生活支援体制整備事業としては、地区社協・委員会へ第1層生活支援コーディネーターが出向き、地域の情報・状況をアセスメントし、地区に必要な研修会や活動の提案、地区からの相談など、地域と協議・連携しながら地区の後方支援をおこないました。地区第2層生活支援コーディネーターと研修会に参加し資質向上を図り、今年度は移動支援や入浴に関する生活課題に対し、地区社協・委員会や介護保険サービス事業所等と考える「生活支援連絡会」を2回開催しました。

地域介護予防活動支援事業では、いきいきサロンへの支援や訪問、町いきいきサロン連絡会代表者会議や研修会の開催、町介護予防部会、認知症部会に参加し地域の活動を共有し、町民へ介護予防や認知症についての啓発活動を行いました。

安心生活基盤構築事業では、地域における生活困窮者への支援など共助の基盤づくりを「地域づくり研修会」や「地域見守り勉強会」をとおして地域住民が繋がり地域ができる見守りから支援につながるしくみづくりを推進しました。さらに、フードパントリーや食料支援により生活困窮者への援助を行いました。

（2）福祉サービス利用支援事業

昨年に引き続き、地域に向けての権利擁護講座を実施し、当事業の説明から利用への周知活動を行いました。新規契約件数は3件、本人希望による終了ケースが1件となっています。また、契約準備のための面談は行いましたが契約に至らなかったケースは3件ありました。

また、町の権利擁護利用促進事業として立ち上がった中核機関や権利擁護部門の協力機関として権利擁護部会・町の権利擁護講座等に参加しました。

※福祉サービス利用者年間件数実績

種類	5年度	6年度
一般	72	85
旧制度	39	43
生活保護	178	115
計(件数)	289	243

※利用者区分別件数実績

区分	5年度	6年度
認知症	44	45
知的障害	74	49
精神障害	171	149
計(件数)	289	243

(3) 地域ささえあい事業

新規依頼が津幡町地域包括支援センターから3件、ケアマネージャーから1件ありましたが、活動件数は、前年度比109件減少の238件となりました。減少の要因としては、利用者が施設入所となり終了となったことや、介護サービスの利用へ移行されました。活動の内容としては傾聴を基本に、協力会員が出来る範囲の掃除や買い物代行などの生活支援が多くなっております。

また、支援をする中で利用者の変化に気づいた場合や、心配なケースに関しては、事務局から地域包括支援センターやケアマネジャーに連絡・相談を行う等の連携を図りました。

利用会員 (人)	協力会員 (人)	活動件数 (件)	活動内容(件数)									
			傾聴	生活支援	掃除 (室内)	掃除 (室外)	買物	買物付添	通院付添	調理	趣味活動支援	その他
5年度	15	22	347	38	309	297	5	1	0	6	0	0
6年度	13	18	238	28	210	181	3	20	0	2	0	4

(4) 子育て支援事業

・親子支援センターひろば利用状況（センター来所者の人数を含む）

年度	開所（日）	利用人数（人）	
		大人	子ども
6年度	285	4,341	4,033
		合計 8,374	

相談状況

(件)

分類	生活習慣			発育・発達				発達		環境		医学的問題		その他			合計	
	睡眠	栄養	排泄	身体発達	言語	精神発達	人間関係	性格・情緒・癖	育児不安(親)	しつけ・育児方法	家庭問題	近隣・地域	疾病・健康	予防接種	保育園・幼稚園	サークル・教室	その他	
内訳																		
計	37	75	10	319	12	24	4	35	31	20	12	1	20	6	121	15	46	788

・プレパパ・ママ交流会は土曜日閉所のため未開催

・親と子の絆づくりグラム実施状況（愛称：B Pプログラム）※組：親と子ども

	開催日	参加	合計	5年度
第1回	R6年6月21日	6	107	67 (3回開催)
	R6年6月28日	6		
	R6年7月5日	5		
	R6年7月12日	7		
第2回	R6年9月6日	6		
	R6年9月13日	6		
	R6年9月20日	6		
	R6年9月27日	6		
第3回	R6年11月8日	9		
	R6年11月15日	9		
	R6年11月22日	9		
	R6年11月29日	9		
第4回	R7年1月31日	5		
	R7年2月14日	6		
	R7年2月21日	6		
	R7年2月26日	6		

・子育て講習会（イベント等）

講習会等	開催数(回)	令和6年度	ボランティア
おおきくなつたかな(月1回)	11	176組	
親子でハッピーふれあいタイム(月1回)	11	78組	
マタニティデイ(月1回)	11	14組	
お祭りひろば	1	19組	18人
離乳食講座	2	14組	
ベビーマッサージ	1	5組	
クリスマスウィーク(12/16～12/20)		126組	62人
赤ちゃんと絵本で遊ぼう	1	5組	

（5）ファミリーサポートセンター事業

子育てを手助けして欲しい方（依頼会員）と手助け出来る方（提供会員）の助け合いを繋げる事業です。今年度も親子支援センター内ひろばでの託児が多く、会議室や廊下などを活用し、託児の環境整備に取り組みました。

また、一人親家庭などの配慮が必要な家庭に託児料の半額助成を開始しました。行政から紹介された家庭が多く、年間140時間の利用がありました。

依頼会員の登録が55人と多くの方が登録されました。

ファミリーサポートセンター事業活動状況

区分	提供会員（うち両方会員）	依頼会員	(人)
5年度	21(2)	39	
6年度	24(0)	55	

・託児・送迎 (件)

区分	利用数	託児のみ	送迎のみ	送迎・託児	病児・病後児託児
5年度	214	189	20	4	1
6年度	130	126	1	2	1

（6）学習支援事業

町の生活保護受給世帯の小中高校生、就学援助受給世帯の小中学生、教育費負担軽減奨学金受給世帯の高校生、ひとり親家庭等生活向上事業の対象者（児童扶養手当受給世帯）の児童へ、居場所を含めた学習支援の提供を行いました。

内容は、講師として大学生・元教師の協力サポーター16名が登録され、1回2時間、児童へ学習のサポートを行いました。小学生のクラスの最終日は、ゲームや高齢者疑似体験などをして過ごしました。

また、全員の受験生（5名）が志望校へ合格されました。

	参加人数	延べ人数	開催回数：夏休み (10時～12時)	開催回数 (18時～20時)
小学生	9名	34名	5回	—
中学・高校生	11名	123名	5回	15回

6 ボランティア活動支援

(1) ボランティアセンター事業

・ボランティア基礎講座

6月8日（土）10：00～12：00

テーマ「ボランティア活動 その原点を問う」

講師 石川県立看護大学 学部長 川島 和代 氏

受講者 43名

・津幡町災害セミナー

10月11日（金）18：30～20：30

テーマ「～津幡町豪雨災害と能登半島地震をとおして～」

参考者： 区長、民生児童委員、関係団体、一般住民 94名

津幡町総務課、津幡町社会福祉協議会

津幡町区長会 津幡町民生児童委員協議会

各活動報告と意見交換

・ボランティア相談、斡旋、登録

(単位：件)

年 度	相談・斡旋数	団体登録数	団体登録人数	個人登録人数
5年度	7	33	2, 495	4
6年度	7	39	2, 408	6

・ボランティア活動保険登録

(単位：件)

年 度	基本プラン加入数	天災プラン加入数	加入者合計
5年度	1, 846	16	1, 862
6年度	1, 763	29	1, 792

・児童ボランティア活動普及事業協力校／1校：条南小学校

取組内容：「環境調べ隊！ジョウナンジャー」、「誰もが関わりあえるように」

・子どもたちができるボランティア体験（災害編）

／7校：中条小学校、英田小学校、条南小学校、津幡小学校、

井上小学校、太白台小学校、刈安小学校

取組内容：災害研修、声掛け訓練

・小学生と施設交流プログラム／1校：条南小学校

取組内容：高齢者施設見学（あがたの里）、車いす体験

施設利用者との交流

- ・夏休み中学生ボランティア体験／

取組内容：あがたの里高齢者と交流	中学生 2 名
住吉こども園児と交流	中学生 2 名
ちいしばこども園児と交流	中学生 2 名
親子支援センター行事ボランティア	中学生準備・当日延べ 35 名
つばたかるた講座	中学生 2 名

(2) 令和6年能登半島地震災害ボランティア活動支援

- ・ボランティアセンター運営

令和6年1月1日の地震発災にかかる被災者支援のため、ボランティアセンターにてボランティアニーズの受付、ボランティアの募集、派遣業務を行いました。

【災害ボランティア活動状況】

ボランティア活動件数	54件（令和5年度 33件）
ボランティア活動人数	244名（令和5年度 171名）
主な活動	倒壊したブロック塀や灯籠などの撤去・運搬 公費解体前の家の片付け

(3) 介護支援ボランティアポイント事業 報告書

ボランティア活動を通じた介護予防の奨励と支援を目的としています。新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、登録者数および交付ポイント数が増加し、ボランティア活動への参加者が増えました。

また、高齢者施設の担い手不足解消に向け、今年度のポイント転換に訪れたボランティアの方々へ施設での活動を呼び掛けた結果、多くの方が関心を持ち、活動可能との回答をいただきました。これにより、現在活動中の方を含め 51名（延べ 57名）が施設での活動を希望しており、今後、3カ所の施設へ紹介を行う予定です。

本事業を通じて、介護支援活動のさらなる充実が期待されます。

※介護支援ボランティア登録状況

年 度	登録者数（手帳）	ポイント交付 決定者数	交付 ポイント数	受入機関の登録数
5年度	65歳以上 253名	273名	4, 823	いきいきサロン 60か所
	65歳未満 20名			施設及び事業所 21か所
6年度	65歳以上 271名	289名	5, 598	いきいきサロン 59か所
	65歳未満 18名			施設及び事業所 19か所

7 日本赤十字活動資金募集状況

赤十字活動資金募金は日本赤十字社の活動を支える募金です。

《赤十字活動資金募金使途》

(1) 国際活動

災害や紛争が発生した時、直ちに被災者の生命と生活に必要な食糧や医薬品を提供します。

（2）災害救護活動

迅速な対応をするために、救援物資の備蓄、資機材の整備・防災ボランティアの要請・訓練など行っています。

（3）救急法・健康生活支援・幼児安全法等の講習

日常的な介護技術や急病人、応急処置に必要な知識と技術を普及するため講習会を広く実施しています。

（4）赤十字奉仕団活動

赤十字事業の推進と地域福祉の増進のために、ボランティア活動を繰り広げています。

（5）青少年赤十字活動（JRC）

将来を担う青少年に「人間の生命と尊厳を大切にする」心を育み、自ら人格を作り上げることを目的としています。

以上5つの事業に町民の皆様から寄せられた赤十字活動資金募金が使われます。

地区名	令和5年度		令和6年度	
	世帯数(件)	実績額(円)	世帯数(件)	実績額(円)
津幡地区	4,872	1,468,420	4,946	1,515,290
中条地区	5,126	1,210,319	5,214	1,224,929
笠谷地区	614	178,300	620	195,590
井上地区	1,478	287,910	1,497	297,385
英田地区	1,676	484,410	1,695	499,880
河合谷地区	135	44,400	129	44,100
俱利伽羅地区	874	257,550	875	264,530
計	14,775	3,931,309	14,976	4,041,704
一般個人等	38	694,369	36	786,745
計	38	694,369	36	786,745
実績合計	14,813	4,625,678	15,012	4,828,449
県支部指定目標額		5,209,000		5,462,000

8 福祉諸団体

(1) 福祉団体

No.	団体名	構成内容	主な行事
1	津幡町民生児童委員協議会	会長：小林 憲一 委員：88人 決算：11,637千円	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者等訪問 ・総務部会（6回） ・定例会（6回） ・監査会 ・町社会福祉大会へ参加 ・県外研修（1回）へ参加 ・長寿祝い品配布 ・歳末たすけあい金配付
2	津幡町シニアクラブ連合会	会長：泉 清昭 単位クラブ26 会員：3,339人 決算：4,118千円	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会（3回） ・クラブ長会議（3回） ・監査会 ・総会 ・講演会 ・女性委員会議（2回） ・会員県内研修、幹部研修 ・グラウンドゴルフ大会（1回） ・スポーツ大会 ・県知事杯グラウンドゴルフ大会へ参加 ・女性委員研修（バス研修、料理教室、手芸） ・県老連作品展へ出展5名6品目 ・会報発行（4回）
3	津幡町戦没者遺族会	会長：池野 忠 会員：223人 決算：2,004千円	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会 ・監査会 ・役員会 ・総会 ・津幡町戦没者慰靈式、慰靈祭 ・石川県戦没者慰靈式 ・護国神社例大祭（春季・秋季） ・町社会福祉大会へ参加 ・役員研修
4	津幡町身体障害者福祉協議会	会長：鈴木眞理子 会員：39人 決算：440千円	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会（3回） ・監事會 ・総会 ・県フライングディスク大会に参加 ・全加賀身体障害者総会、わなげ大会に参加 ・町社会福祉大会へ参加 ・県身連表彰式へ参加 ・内灘町身障会交流会

5	津幡町母子寡婦福祉部会	会長：津田 笑子 会員：16人 決算：359千円	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 ・監査会 ・総会 ・県母子寡婦福祉大会へ参加 ・中部地区母子寡婦研修大会 ・会員バス研修（1回） ・クリスマス交流会 ・会員研修会
6	津幡町手をつなぐ育成会	会長：稻場 葉子 会員：59人 決算：650千円	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 ・監査会 ・総会 ・県アールブリュット展出展 ・茶話会 ・親子療育キャンプ ・町社会福祉大会に参加 ・育成会東海北陸ブロック大会へ参加 ・県育成会合同研修会参加

（2）ボランティア等その他団体

No.	団体名	構成内容	主な行事
1	津幡町赤十字奉仕団	委員長：西田伸幸 団員：30人 決算：397千円	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・委員会（2回） ・監査会 ・献血ボランティア活動（3回） ・奉仕団街頭募金活動（1回） ・県防災総合訓練参加 ・新年交流会 ・団員研修会 ・町防災総合訓練参加 ・救命講習会 ・ハンドマッサージ（3回）
2	津幡町ボランティア連絡会	会長：津田喜久子 39団体 6個人 会員：2,408人	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会（3回） ・総会 ・町ボランティア連絡会交流会 ・能美市ボランティア連絡会交流会・研修会 ・県防災総合訓練参加 ・河北地域ボランティア連絡会交流会
3	津幡町いきいきサロン連絡会	会長：大西 邦夫 団体：60箇所 会員：1,350人	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議（1回） ・研修会（1回）